



学校の教育活動の充実と教職員の働き方改革

校長 村山 孝

本日で9月が終わり、明日から10月になります。「猛暑・酷暑」が続いていましたが、厳しい暑さもようやくひと段落し、過ごしやすい「秋」へと変化してきました。本校の教育活動は順調に進み、今後、校外学習、移動教室、中学部の運動会、学習発表会と学校行事が行われていきます。10月は気候が良くなり、学習や運動を行いやすい季節となっていくと思われます。様々な教育活動をとおして、児童・生徒の皆さんが成長できるように指導や支援を行っていきたいと考えています。

さて、東京都は令和6年3月に「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム（以降、実行プログラムとします。）（東京都教育委員会のホームページで閲覧できます。）」を策定しました。東京都では「子供たちの豊かな学びと健やかな成長に向けて」、教職員が健康で生き生きと子供たちと向き合うことができるよう、令和8年度までを期間として、働き方改革を集中的に取り組んでいきます。実行プログラミングを是非、御一読いただきたいと思います。今回は、重要な点など一部を御紹介いたします。

実行プログラムでは、5つの柱を掲げ、学校における働き方改革の推進に向けた総合的な対策を示しています。①学校・教員が担うべき業務の精査 ②役割分担の見直しと外部人材の活用 ③負担軽減・業務の効率化 ④働く環境の改善 ⑤意識改革・風土改革 が5つの柱です。

教職員（管理職含む）の働き方改革で、昨今問題になっているのは、「教職員の時間外労働」です。本校の教職員の勤務時間は7時間45分です。多くの教職員が8時30分から17時（休憩時間45分間含む）まで勤務しています。教職員は、児童・生徒の皆さんを思い浮かべながら、良い授業、良い行事を目指して日々仕事をしています。また、その他に、事務的な仕事も様々に行っています。教職員の勤務の状況はいろいろですが、本校においても「残業時間の是正」は喫緊の課題と言っても言い過ぎではありません。

今後も、本校では、児童・生徒の皆さんの豊かな学びと健やかな成長に向けて、時代に合った教育活動の充実を目指すとともに、教職員が健康で生き生きと児童・生徒の皆さんに教育することができるように「働き方改革」も推進していきたいと考えています。

図書室がリニューアルオープンしました

主幹教諭・司書教諭 重久 和仁

9月3日（水）に、本校図書室のリニューアル・オープニング・セレモニーを行いました。このセレモニーには、改装作業を行っていただいた児童文学評論家の赤木かん子先生、児童・生徒代表らが出席し、テープカットなどを行い、リニューアルを祝いました。

赤木先生には、夏季休業中に図書室のリニューアル作業を行っていただきました。図書室のレイアウト変更や蔵書の整理だけでなく、選書についての助言などをいただき、ハード面、ソフト面ともに向上した図書室に生まれ変わりました。10月から児童・生徒への図書の貸し出しを開始する予定です。



今回、布絵本や仕掛け絵本など、これまで蔵書していなかった本を増やしました。子供たちが様々な図書に触れることで、興味・関心を広げられたらと考えています。また、新しい図書室を授業でも活用し、教育活動の中心となる図書室となるよう取り組みます。